

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	水難救助隊訓練、水中でネットに絡まり浮上困難に陥った。
3. 体験した事例の中心的要素	想定訓練で使用する模擬車両（イレクターパイプとネットで作成したもの）を海中へ沈める設定作業時に、隊員1名がネットに絡まり水中拘束され、脱出困難となったもの。
4. 体験した事例の原因・理由	模擬車両構造の危険を軽視し、内部での作業を実施。作業前の十分な手順や行程の説明、確認を怠っていた。

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成27年1月19日 午前10時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：港工場岸壁
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	おぼれ
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[救助（通常時）]
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：想定訓練設定時
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[38]歳、勤続年数[20]年、現場経験年数[20]年、階級[消防司令補] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [その他:訓練担当者]
○当事者B	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ] 同様の活動 [ ]、任務 [ ]
○当事者C	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ] 同様の活動 [ ]、任務 [ ]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A他隊員4名で	模擬車両を陸上から救助ロープにて1箇所に結着し、水面で15キロアンカーを取り付けて水底に落とす作業にあたった。	
経過2	A以外の隊員4名が	水面で模擬車両を保持し、Aが模擬車両内部に入りアンカーの取り付け作業を実施。	
経過3	Aが	アンカーを取り付け後、模擬車両から離れようとした際にスクーバセット、マスク及びレギュレーターがネットに絡まった状態で模擬車両は落下し始めた。	
経過4	陸上支援隊員が	救助ロープで確保していたが、1箇所だけの結着で模擬車両がアンカー側に傾いた。	
経過5	Aが	模擬車両の傾きの作用でマスクとレギュレーターが離脱した。	
経過6	Aは	水中での視界が良かったためにレギュレーターを自力で掴み、呼吸の確保はした。	
経過7	A以外の隊員4名が	Aの水中拘束に気づき、Aの保持と絡まったネットの切断を実施。	
経過8	陸上支援隊員が	Aを保持し、岸壁から確保した。	
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

他隊(員)との連携活動がうまくいった。 その他 : 熟練隊員での作業だったために、異変を素早く察知し、トラブル対処を慌てずにできた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

# 状況図

